

敦(あつもり)

源氏の武士・熊谷直実(ワキ)は、一の谷の合戦で平敦盛を手に掛けたのち、世の無常を感じて出家し、蓮生法師と名を改めました。ある時法師は、敦盛の亡き後を弔おうとの谷へと赴きました。笛の音が聞こえてきたので、法師はその主を確かめようと待っていると、草刈男たち(シテ、シテ連)がやってきました。笛の音の主は、その草刈男たちの一人でした。他の草刈男たちは帰つてしまいますが、その笛の主(シテ)だけが法師の前に残ります。法師は不思議に思つてわけを尋ねると、自分は敦盛のゆかりの者で、念仏を授けてほしいと述べます。男は、毎日法師が欠かさず弔いをしてくれていることに謝意を述べ、実はその弔いを捧げている相手が自分であると言い残し、かき消すように消えてしまいます。

夜になつて法師が敦盛を弔うための法事をしていると、敦盛の靈が現れます。敦盛は平家の凋落の有様を物語ります。さらに、一の谷合戦前夜に平家一門で催した宴を懐かしんで舞を舞います。やがて敦盛は、合戦での最期を再現して、法師にさらなる弔いを頼んで消えてゆきました。

『平家物語』源平盛衰記に着想を得た作品です。前シテが笛吹きの設定であるのは、『平家物語』において、敦盛が討死の際に、青葉の笛を錦の袋に入れて腰にさしていたと言う記述をもとにしています。後シテは、武将姿で男舞・敦盛最期を勇壮に舞います。

三輪(みわ)

玄賓僧都という僧(ワキ)が三輪の里に住んでいたところ、その庵にある女(シテ)が毎日シンミやアカの水をもつてきます。僧都は女に請われて衣を与えますが、女に住處を尋ねると、「わが庵は三輪の山本恋しくほどぶらひませる立てる門」という古歌を残して消え去ります。

僧都が三輪山の木へ行くと、杉の木に先ほど女に与えた衣がかかつていました。僧都が驚いていると、杉の内から声が聞こえ女体姿の三輪明神が現れます。明神は自身にまつわる昔物語の有様を、僧の前で再現して見せます。大和の国に長年連れ添った男女があり、夜しか姿を見せない夫を不審に思った妻が問い合わせると、彼はそれを拒んで別れを告げます。

妻は突然の別れの悲しさに、彼の住処を知らんと服の袖に芋環の糸をくくりつけますが、朝になってそれを手繰り寄せた先には三輪明神の杉の木につながっているのでした。

やがて三輪明神は神世の物語を語りはじめ、神樂を舞います。天照大神の天の岩戸隠れの有様を表したのち、伊勢と三輪の神が実は同じ神体であることを明かして、夜明けとともに夢は覚めました。

契を結ぼうとした相手が、実は三輪明神であつたという三輪山神婚説話を題材にした神秘かつ壯麗な曲です。『古今和歌集』の和歌や『古事記』の神話など、多くの作品の要素を含んでいます。本来、三輪明神は男神ですが、本曲ではあえて女神としています。

是界(ぜがい)

中国・唐の天狗の首領である是界坊(シテ)は、仏法を妨げようとの日本へ渡ってきます。是界坊はまず、日本の天狗である愛宕山の太郎坊に協力を求めるため、彼の庵室を尋ねます。太郎坊のすすめによつて、是界坊は天台宗総本山の比叡山延暦寺を落とすと目論みます。

兩者は天台の教えの偉大さに恐れおののき、佛敵となつてゐる身の上を嘆き悲しみますが、やがて決意を固め比叡山へと出で立ちます。

比叡山の僧(ワキ)が都からの勅使を受けて、都へ向かっているところ、にわかに嵐が吹き荒れ雷鳴轟き大地が震動します。その嵐の中から是界坊が現れ、僧を魔道へと誘います。僧は不動明王の真言を唱えて対抗します。激しい攻防の末、やがて数々の仏法守護神に加えて各地の神々が加勢し、神風によつて嵐を吹き飛ばしてしまいます。日本の仏力・神力の威力をさまざまと見せつけられ屈服した是界坊は、僧に一度どこの地に来ないと誓つて、雲路はるかに逃げ帰つてきました。

「鞍馬天狗」「大会」「車僧」などと共に、天狗を題材とした曲のひとつです。一見、おとぎ話的な流れを見せてはいるかのように思えますが、曲中に仏法の要素を壮大に取り込み、後半は中国の大天狗と日本の神力仏力の総力がぶつかり合う、大迫力の展開となっています。

第38回 喜多流青年能

平成27年9月26日(土)
12:00開演(11:15開場)
十四世 喜多六平太記念能楽堂
主催:公益財団法人十四世六平太記念財団

次回喜多流青年能予告

平成28年5月21日(土) 12:15開場 / 13:00開演
能「巴」佐藤 寛泰
能「土蜘蛛」狩野 祐一
ほか狂言など

チケットご購入のご案内

一般4,000円(前売3,500円)/ 学生2,500円(前売2,000円)

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com>
受付時間: 24時間対応、要事前登録(無料)
【お受取り・お支払い】

1)セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

2)窓口(喜多能楽堂事務局)

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのWeb決済)、ご予約の際画面に表示された番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
受付時間: 午前10:00 ~ 午後6:00 休館日あり
【お受取り・お支払い】
お支払いは現金のみとなります。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
受付時間: 午前10:00 ~ 午後6:00 休館日あり
【お受取り・お支払い】

1)セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

2)郵送

チケット代金を指定の郵便振替口座にお振込みください。入金確認後、チケットをお届けいたします。

3)窓口(喜多能楽堂事務局)

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

注意事項

*お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更是できません。

十四世 喜多六平太記念能楽堂

東京都品川区上大崎4-6-9
tel.03-3491-8813

お客様専用駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮願います。



番組

仕舞 松 岩 船 虫 内田貴成 友枝雄太郎

内田貴成 友枝雄太郎

佐内塙佐
藤田津藤
寛成圭
泰信介陽

シテ連(草刈男) 金子 龍昇
シテ連(草刈男) 谷 友矩
狩野祐一

(大鼓)
龜
井
羊
祐

| | | |
|----------------|----|----|
| 草刈男) | 金子 | 龍晟 |
| 谷 | 友 | 矩 |
| 狩野祐一 | | |
| 御厨誠吾 | | |
| 間狂言(須磨の浦人) 飯田豪 | (小 | (大 |
| キ(蓮生法師) | | |
| 靈 | | |
| 後見 | | |
| 谷大作 | | |

| | | | | | | |
|-----|------|------|---|---|---|---|
| 豪 | (大鼓) | （小鼓） | 龜 | 井 | 洋 | 佑 |
| 地謡 | 鶴 | | | | | |
| 塩佐 | 澤 | | | | | |
| 左木津 | 洋太郎 | | | | | |
| 多圭介 | 佑 | | | | | |
| 門陽 | | | | | | |
| 大友 | (笛) | 小野寺 | 竜 | | | |
| 村枝 | | | | | | |
| 雄呻 | | | | | | |
| 宝人三 | | | | | | |

狂言
佐渡狐
シテ（佐渡の百姓） 中村修一

高林昌司 内田成
アド(越後の百姓) 岡 聰史
アド(奏者) 高野和憲

休憩一千分

後シテ（三輪明神）
前シテ（里女）
佐藤寛泰

輪 ワキ（玄賓僧都） 工 藤 和哉
（大鼓） 亀 井 広 忠（太鼓） 小 寺 真佐人
（小鼓） 住 駒 充 彦（笛） 杉 信太朗

間狂言(三輪の里人) 深田博治

友枝 雄太郎

後見
塩中
津村
圭邦
介生

地謡 谷 大島 友枝 真也 谷 友 島 輝 久 長島 出雲 康雅 茂谷 告 之

後シテ（同前）
前シテ（是界坊）

(大鼓) 柿原光博 (太鼓) 林雄一郎

ワキ連(徒僧) 坂 苗 融
ワキ連(徒僧) 宝 生 朝哉

達 由
邊 恭 資
(笛) 藤 田 貴 寛

界

主(比叡山の僧) 鳥 読 吉

後見
高林呻二
友枝真也

地謡
佐藤 寛泰
大島 輝久
栗谷 明生
狩野 了一

附祝言